



令和2年12月2日発行 中等新報第80号
新潟県立村上中等教育学校長 吉井 裕也

3学年学習合宿 ～ 勉強の醍醐味、分かった… ～



互いの間隔を十分とって、「密」を避けながら学習に打ち込む3年生

11月25日（水）～27日（金）の3日間、前期課程における学習の総まとめとして、3学年学習合宿を実施しました。今年度は、感染症予防の観点から、生徒用個室を確保できた新潟東映ホテル（新潟市中央区弁天）を会場にしました。全国の高校入試問題を教材として、学習の定着度、弱点分野の確認などを行うことがねらいです。私も、2日目、現代文の講義を担当しましたが、受講生徒の真剣なまなざしを受けて久しぶりに気合いが入りました。以下に、生徒の感想をいくつか紹介します。

3年生の感想

● 最初は、2泊3日はすごく長いと思っていたけど、3日目になって、思ったよりもこの3日間が短く感じられた。自習のときも、周りが勉強しているので、自ずと勉強することができた。私は歴史がとても苦手なので、歴史が得意な友だちに質問した。そのお陰で、2日目に行ったテストよりも3日目に行ったテストでは、正答率が上がって嬉しかった。この学習合宿までは、自分に見合った勉強法が見つかっていなかったが、今回自分に合う勉強法を見つけられた。● 最初からいきなり模試で、「死にそうだな」と不安だったけど、時間が経つにつれて、時間が過ぎるのが速く感じられた。私は長文読解が苦手で、解くのに時間もかかったが、校長先生の授業で、「現代文はゲームだ」とか、「問題文にメモする習慣をつけるといい」と言われ、気が楽になった。まだ、自分に欠けている部分がたくさんあるけど、後期生になる前にしっかりと身に付けていきたい。● 1日目は、「まだ勉強するの？もう無理」と思ったけど、2日目になると慣れてきて、学校でやる勉強と違って楽しかった。「一日中勉強なんて辛すぎる」と思ってたけど、家で一人でやるより、みんなで教え合いながらやる方がずっといいし、「勉強してる」という雰囲気のお陰で頑張ることができたし、とにかく疲れたけど、楽しかった！● 合宿に行く前は、勉強しなくなかったし、私たちが高校入試問題を解く理由が分かりませんでした。でも、実際に受けてみたら、中学の内容で自分がまだ理解できていないところや苦手なところを知ることができ、良かったなと思いました。他県の入試問題では、富山県の問題がすごく難しかった。富山県の中学生のすごさを改めて実感しました。大学入試では、いろんな県の人たちと闘うことになるので、今から気持ちを切り替えて頑張ろうと思います。後期生になるまでに、自分の苦手分野を克服したいです。

現代文の講義風景（左）。配膳の工夫も新型コロナウイルス感染症対策の一環です。



新潟県立村上中等教育学校

〒958-0031 村上市学校町6番8号 TEL.0254-52-5101 FAX.0254-53-6773
HPアドレス <http://www.murakami-ss.nein.ed.jp>